

凛とした眼差しと妖艶さを兼ね備えた女性を描き続けるアーティスト

Adobe® Illustrator® CS3で描く、自分自身の線



イラストレーター feebee氏

ストリートミュージックにはまっていたその女性は、自分自身の線や空間のバランスを感覚的に描くことのできるツール Adobe Illustratorとの偶然の出会いによって趣味のイラストからプロのイラストレーターへの道へと誘われた。

2007年8月24日、恵比寿 SPAZIOにて「Adobe CS3 Web Premium × Loftwork 新ツールとインフラがひらくクリエイティブ新次元」と題するイベントが開催された。そこでトークセッションを行ったのが新進気鋭のイラストレーターfeebeeさんだ。このイベントのために、最新のAdobe Illustrator CS3を使って描き下ろされたイラストは、最終的にFlashクリエイター鈴木浩氏によりアニメーション作品として見事に昇華した。

この二人のコラボレーションは、クリエイターネットワークによりさまざまにクリエイティブ活動の支援を行うロフトワークドットコムが橋渡しを行った。今回は、そのロフトワークにてfeebeeさんとIllustratorの関係、さらに最新のIllustrator CS3をどのように使いこなしているのかを伺った。

Illustratorとの偶然の出会い

強い意思を感じさせる凛とした眼差し。同時に艶やかな肢体とポージングで女性としてのしなやかさを描き出す構図。それがfeebeeさんの作品だ。

着物、日本髪といった要素や色使いなど“和”をモチーフとしながらも、小顔や存在感のある唇などポップなイメージで描かれる女性の顔、そして力強さや艶っぽさを感じさせるスタイル。アンバランスな要素が絶妙なバランスで組み合わせられ独特な世界観を持つfeebeeさんの作品は圧倒的な支持を受け、今やその活動をアジアから世界へと広げようとしている。

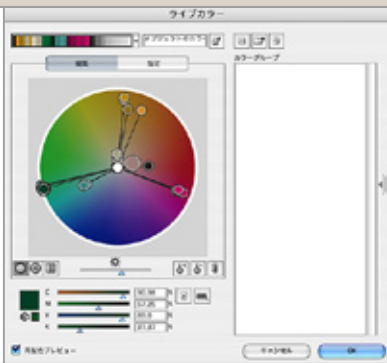
そしてfeebeeさんの創作活動を影で支えるのがIllustratorだ。彼女とIllustratorの出会いは、まったくの偶然によるものだった。

「Illustratorに出会ったのは、確か2002年頃です。その頃の私は、Macで楽曲を作ったりはしていたけれど、Macを使ったイラスト制作はしていませんでした。」

楽曲を創作する一方で、手書きによるイラスト制作はしていたという彼女。ある日、なにげなく触ったのが友人宅のMacにインストールされていたIllustratorだった。初めて触ったそのツールが、コンピュータソフトとは思えないほどに感覚的に使えることに驚いたという。

わたし自身の“線”を描きたい

イラストレーター feebee氏



ライブカラー

CS3で新たに搭載されたライブカラーにも興味を示すfeebeeさん。カラーバリエーションをスピーディに生成し、気に入った色の組み合わせを従来とは比べものにならないくらい効率的に見つけることができるという。



感覚的な操作で描けるツール

「コンピュータソフトなのに、数字ではなく、感覚的な作業で創作できることに、すぐに飛びついてしまいました。」と、feebeeさんはIllustratorの最初の印象を語る。

それ以前にも、手描きによるイラスト制作は行っていたが、特に専門的な教育を受けたわけではない彼女は、もともと持つ才能と手描きでの創作活動の中で、自ずと自分自身のアートワークを築き上げてきた。ただし、手描きによる創作にはある種の限界を見ていたようだ。

「特に目にはこだわりがあるんです。目の大きさや位置といったバランスはとても微妙なもので、手描きの頃は「描いては消して」という作業を何度も繰り返す必要がありました。そうしているうちに時間が経過してしまうし、紙は汚くなってきてしまうし…。」

ともすれば感覚的な創作イメージを阻害しかねないそういったジレンマを、Illustratorはことごとく解決する画期的なツールだったようだ。

パズルを組み合わせるようにイラストを描く

「とにかくIllustratorで描ける線が綺麗なことが印象的でした。」という彼女は、その効率的なアートワーク環境に驚くと同時に、瞬間的にその価値を見出していった。描いた線やオブジェクトを何度でも、しかも簡単に書き直せること。一度描いたパーツを移動したり回転させることで、素早くかつ効率的に理想の構図バランスに近づけられること。手描きによるイラスト制作に苦心していた彼女にとって、Illustratorは理想的な道具であったわけだ。

さらに、彼女自身もIllustratorを使いこなす高い素養があったともいえる。イラスト制作には「えんぴつツールを使うことが多い」という彼女。ベジェツールではなく、まずは感覚的に描くことのできるえんぴつツールを使い、その後、ベジェツールで線を補正する。「自分自身の線を描きたい」というfeebeeさんは、Illustratorに触れた最初の時点から「線や面を感覚的に描き、それらをまるでパズルのように組み合わせてイラストができあがっていく」という作業を何時間も続けたようだ。

進化するツールの機能を貪欲に取り込んでいく

feebeeさんはIllustratorの新機能も自身の作品制作に貪欲に取り込んでいった。たとえばCS2で搭載された透明効果。今回の作品では、扇子の透けている部分に利用しているが、以前ならひとつひとつカラーを指定しなければならない。背景に描いた蝶も、以前までのバージョンでは作業的な要素が大きいパーツだった。

それを解決したのが、最新のIllustrator CS3で搭載された“消しゴム”ツール。feebeeさんは消しゴムツールを描画するためのツールとして使いこなしていた。「最初に羽全体をひとつのオブジェクトとして描き、文様は消しゴムツールを使って描いたんです。」模様のひとつひとつをパスオブジェクトとして描くよりも、消しゴムツールで模様の抜きの箇所をダイレクトに消すことで、スピーディかつ感覚的にイラストを創作していったのである。

また、えんぴつツールで描いた線を彼女自身の線に仕上げていく過程でアンカーポイントの操作は必須。「CS3ではアンカーポイントが強調表示されるので、細かい部分の微調整がやりやすい!」と、進化するIllustratorの効率的な制作環境を高く評価していた。

イラストから映像へ。作品の幅を広げていく

すでに独自の世界観で高い評価を受けるfeebeeさん。今回、鈴木浩氏とのコラボレーションで、自身のイラストをFlashアニメーション作品へと仕上げることで、その興味の幅を映像にも広げることとなった。

もともと音楽を創っていた彼女は「イラストに音が付けば、また違ったアートになりますし、さらに音+映像+イラストで、新たな表現も可能だと思います。」と語り、その創作の夢は広がる一方であるようだ。

今後、ショートフィルムやCM用作品、電光掲示板、動きのあるポスターなどさまざまな可能性を志向する彼女は、「静的なイラストでは自分自身の線にこだわってきましたが、アニメーションや映像になれば、今度は自分自身の“動き”にこだわりたいんです。」と熱い想いを語ってくれた。

会社データ

イラストレーター
feebee[フィービー]

2002年よりクリエイティブ活動を開始。イラストカットやフライヤーなどをはじめとして、独自アートワークの世界を展開。最近では和的な構図による内面の強さ、美しさを持った女性像などで高い支持を受ける。

<http://www.feebee.jp/>

チャレンジ

感覚的作業を損なわないための効率的な制作環境。

ソリューション

Illustrator CS3の新機能を利用して、イラスト制作をスムーズかつ柔軟に行う。

ベネフィット

Illustratorのペンツールによる独特なラインの描画と新機能である消しゴムツールによる感覚的な描画。

Tool Kit

・ Adobe® Illustrator® CS3

アドビシステムズ株式会社 〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-2ゲートシティ大崎 イーストタワー・www.adobe.com/jp/

Adobe Systems Incorporated 345 Park Avenue, San Jose, CA 95110-2704 USA・www.adobe.com

アドビカスタマーインフォメーションセンター Tel.03-5350-0407 受付時間/平日9:30~17:30(土曜・日曜・祝日・弊社指定休日を除く)

Adobe, Adobeロゴ, Adobe Creative Suite, InDesign, Illustrator, PhotoshopおよびVersion Cueは、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。OpenTypeおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国および他の国における商標または登録商標です。MacintoshおよびMacは、米国Apple Computer, Inc.の米国および他の国の商標または登録商標です。その他すべての商標は、それぞれの権利帰属者の所有物です。

©2007 Adobe Systems Incorporated. All right reserved.

